

2016年2月



桃寿苑

だより

1日 (月)			16日 (火)		
2日 (火)			17日 (水)		アッピー コーラス
3日 (水)	節分		18日 (木)	誕生会	
4日 (木)		アッピー コーラス	19日 (金)	血压検温 診察日	
5日 (金)	血压体重 診察日		20日 (土)		
6日 (土)			21日 (日)		
7日 (日)			22日 (月)	ホーム喫茶	
8日 (月)	ホーム喫茶 苑内掃除		23日 (火)		
9日 (火)			24日 (水)	避難訓練	
10日 (水)			25日 (木)		アッピー
11日 (木)	(建国記念の日)	アッピー	26日 (金)		レク
12日 (金)		レク	27日 (土)		カラオケ
13日 (土)		カラオケ	28日 (日)	席替えくじ	
14日 (日)			29日 (月)	席替え	
15日 (月)					

散 歩 道

施設長 坂巻 政美

早いもので、一月（ひとつき）が過ぎました。18日には、大雪となりびっくりしました。記録的な寒さで一段と厳しい時期となっています。今後、インフルエンザの流行も予想されますので、健康にはご注意くださいと思います。

2月3日は節分です。節分という言葉は、「季節を分ける」という意味が含まれています。言い換えれば、「季節の変わり目」という意味になります。ですから、春、夏、秋、冬の季節にも、節分はあります。では、どうして2月3日なのでしょう？節分は、季節の変わり目毎にあるのですが、季節の分かれ目とは、立春、立夏、立秋、立冬の事です。その前日が、節分と呼ばれています。季節は、「春夏秋冬」と書くように、一年の始まりは「春」になります。その春の始まりが、立春です。立春の前日、2月3日が節分として、メジャーになったのです。一年の最初、お正月に送る年賀状にも、「新春」とか「迎春」と書くと思いますが、一年のうち、もっとも大事なのが「春」だというのはお分かりいただいたと思います。その「春」が始まる前日、新しい一年が始まる前日に、「これから始まる、新しい一年が、不幸や災いが無い一年になりますように」との願いを込めて、一年に一度、節分をこの時期に行うのです。今でも、暮れには「大掃除」をします。大掃除も、旧年中の埃や汚れ、言い方を変えると邪気など悪いものをなくし、綺麗な体で、新しい年を迎えるという意味もあります。掃除とやり方は違いますが、豆まきもそれと同じ意味だと思われます。最近、節分には「恵方巻き」が世の中にだいぶ浸透しているようです。そのルールはこんな感じです。

- 1 太巻きを一人につき1本準備する。
- 2 2016年の恵方は、南南東（正しくは南微東で、南南東やや右）です。
- 3 願いごとをしながら、黙々と最後まで食べる。

家族揃って同じ方向を向き、黙々と太巻きを食べる光景は???真面目に最後まで食べきるのは結構大変です。



2月行事予定

節分

日 時・・・2月3日（水）

鬼はそと～ 福はうち～

皆でたくさんの福をよびこみましょう。



節分の由来（散歩道の補足）

立春を1年のはじまりである新年と考えれば、節分は大晦日にあたります。平安時代の宮中では、大晦日に陰陽師らによって旧年の厄や災難を祓い清める「追儺（ついな）」の行事が行われていました。室町時代以降は豆をまいて悪鬼を追い出す行事へと発展し、民間にも定着していきました。

京都ではこの時期、表鬼門にあたる「吉田神社」と裏鬼門にあたる「壬生寺」の節分祭がことに有名で、厄除節分会の期間中は大勢の人でごったがえします。



豆まきの由来

節分には豆をまきますが、これは中国の習俗が伝わったものとされています。豆は「魔滅（まめ）」に通じ、無病息災を祈る意味があります。昔、京都の鞍馬に鬼が出たとき、毘沙門天のお告げによって大豆を鬼の目に投げつけたところ、鬼を退治できたという話が残っており、「魔の目（魔目＝まめ）」に豆を投げつけて「魔を滅する（魔滅＝まめ）」に通じるということです。

豆まきは一般的に、一家の主人あるいは「年男」が豆をまくものとされていますが、家庭によっては家族全員で、というところも多いようです。家族は自分の数え年の数だけ豆を食べると病気にならず健康でいられると言われていました。

ただ、豆まきに使う豆は炒った豆でなくてはなりません。なぜなら、生の豆を使うと拾い忘れた豆から芽が出てしまうと縁起が悪いからです。「炒る」は「射る」にも通じ、また、鬼や大豆は陰陽五行説（「木」「火」「土」「金」「水」の五行）の「金」にあたり、この「金」の作用を滅するといわれる「火」で大豆を炒ることで、鬼を封じ込めるという意味があります。そして最後は、豆を人間が食べてしまうことにより、鬼を退治した、ということになるわけです。



4日 さん 5日 城田 みどり さん (職員)
20日 さん 10日 野村 まさみ さん (〃)



<苑からのお願い>

最近テレビの音量の大きい人が増えてきています。
特に夜間はイヤホンを使うか、音量を低くして下さい。
(御近所とトラブルになってしまいます。)

大寒寒波によってインフルエンザも流行りだしました。
引き続きマスクの着用、手洗い・うがい・消毒をして下さい。
(ノロウイルスによる胃腸炎も流行ってます。)

女子風呂に手すりをつけました。
立ち上がる時は手すりを利用して下さい。
蛇口には体重をかけないで下さい。
(男子風呂は後日手すりをつけます。)

<事務より>

今年も年金の源泉徴収票等が届いています。
来年度の入居料の算定に必要なものです。

コピーの必要な方はコピーをいただいてから、直接お渡しします。

よろしく申し上げます。

(発行)

〒362-0016 埼玉県上尾市原新町27-1
社会福祉法人 たてば友愛会
軽費老人ホーム 桃寿苑
☎ (048) 775-1101